



2026年3月期 第1四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 BIPROGY株式会社 上場取引所 東
コード番号 8056 URL <https://www.biprogy.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 昇
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 滝澤 素子 TEL 03-5546-4111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	96,844	9.6	8,569	30.3	8,523	19.5	5,827	19.1	6,276	14.5
2025年3月期第1四半期	88,352	10.6	6,578	12.8	7,129	10.8	4,892	12.1	5,481	△20.6

（注）調整後営業利益 2026年3月期第1四半期 7,841百万円(23.9%) 2025年3月期第1四半期 6,326百万円(9.7%)
調整後営業利益は売上収益から売上原価と販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	59.42	59.30
2025年3月期第1四半期	48.66	48.54

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	313,406	168,930	166,986	53.3
2025年3月期	330,876	171,297	169,050	51.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		60.00	—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	420,000	4.0	42,600	9.0	42,600	9.8	29,000	7.5	298.66

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）調整後営業利益 通期 42,000百万円(9.3%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) BIPROGY and Translink Sustainability & Innovation Fund, L.P.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	100,663,524株	2025年3月期	100,663,524株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,782,413株	2025年3月期	2,481,445株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	98,075,415株	2025年3月期1Q	100,563,520株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況（1）当四半期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復基調が続きました。

情報サービス産業においては、デジタルトランスフォーメーション（DX）領域を中心に企業の強い投資意欲が継続しています。日銀短観の6月調査では、当年度のソフトウェア投資額は前年度比増加が見込まれています。

一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっていることに加え、物価上昇の継続が個人消費に影響を及ぼし、日本経済の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動などの影響にも十分な注意が必要です。

このような環境の下、当社グループが目指す「Vision2030」の実現に向けて「経営方針（2024-2026）」^{注1}に基づく取り組みを推進しています。基本方針である「持続性のある事業ポートフォリオ確立による企業価値の向上」「経営資源配分の最適化」「グループ経営基盤の強化」を図りながら、現在の収益源である「コア事業」と新たな収益の柱とする「成長事業」の両輪で事業拡大を進めています。

コア事業では、優良な顧客基盤と業務知見を活かせる「ファイナンシャル」「リテール」「エネルギー」「モビリティ」「OTインフラ^{注2}」の5つを注力領域として定めています。

その一つである「ファイナンシャル」においては、金融機関の顧客接点強化やエンゲージメント向上に向けて、営業店ソリューションの展開を進めています。2025年5月には全国約6,000店舗展開する金融機関において、次世代営業店システム「BANK_FIT-NE[®]」^{注3}と営業店業務支援システム「SmileBranch[®]」^{注4}をベースに構築した新営業店システムを提供し、事務効率化と顧客利便性の向上を実現しました。

「モビリティ」領域においては、大手鉄道会社に生成AIを活用した復旧支援システムの提供を開始しました。本システムでは、過去の類似事例をもとに、故障原因の特定や復旧作業の推奨内容を生成AIが提示します。これにより、復旧時間の短縮に加え、業務負荷の軽減および復旧指示の品質安定化を実現しています。

成長事業では、新たな収益基盤の確立と価値の提供を目指して「市場開発」「事業開発」「グローバル」の3つの領域を定めています。

その一つである「市場開発」では、マネージドサービスを刷新・体系化するとともに、新ブランド「GASSAITM」^{注5}として提供開始しました。AIやデータ活用などの先端技術を取り入れることで、企業のIT運用における利便性と柔軟性を向上させ、サイバー攻撃や災害などのIT運用に関するリスクに備えることができます。複雑化・高度化するIT環境において、安全・快適で効率的な運用を実現するマネージドサービスを通じて、お客さまのビジネス価値の向上に貢献してまいります。

「経営方針（2024-2026）」では、事業戦略と連動した人財戦略、技術戦略、投資戦略、財務戦略を推進し、市場競争力の強化に向けて、強みのある領域への経営資源の積極的な投入と、新たな価値の創出に取り組んでいます。今後も内外の環境変化に対応し、顧客への提供価値を向上させるために、グループバリューチェーンを進化させてまいります。

(注)

1. Vision2030および経営方針（2024-2026）については、当社ウェブページの以下ご参照。
https://www.biprogy.com/com/management_policy.html
2. OTはOperational Technologyの略称で、主に工場やプラントなどの設計・製造プロセスを支える情報システム基盤のこと。
3. 次世代営業店システム「BANK_FIT-NE」については、当社グループウェブページの以下ご参照。
<https://www.biprogy.com/solution/service/bankfit.html>
4. 営業店業務支援システム「SmileBranch」については、当社グループウェブページの以下ご参照。
<https://www.biprogy.com/solution/service/smilebranch.html>
5. マネージドサービス「GASSAI」については、当社グループウェブページの以下ご参照。
<https://www.uniadex.co.jp/service/solution/gassai.html>
6. 記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は、お客様のIT投資意欲が旺盛な状況が継続しており、サービス、製品販売ともに増収となり、前年同期比84億92百万円増収の968億44百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

利益面につきましては、人件費の上昇や、将来のビジネス拡大に向けた投資強化により販売費及び一般管理費が増加した分を、増収による売上総利益の増益分でカバーし、営業利益は前年同期比19億90百万円増益の85億69百万円(前年同期比30.3%増)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比9億34百万円増益の58億27百万円(前年同期比19.1%増)となりました。

なお、当社グループが業績管理指標として採用している調整後営業利益^{*}につきましては、前年同期比15億14百万円増益の78億41百万円(前年同期比23.9%増)となりました。

※調整後営業利益は、売上収益から売上原価と販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、営業債権の減少等により、前連結会計年度末比174億69百万円減少の3,134億6百万円となりました。

負債につきましては、営業債務の減少等により、前連結会計年度末比151億3百万円減少の1,444億75百万円となりました。

資本につきましては、1,689億30百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は53.3%と前連結会計年度末比2.2ポイント上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比39億42百万円増加の687億43百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金につきましては、税引前四半期利益85億23百万円に加え、非現金支出項目である減価償却費及び償却費45億6百万円、営業債権及びその他の債権の減少274億61百万円等の収入加算要素および、営業債務及びその他の債務の減少41億42百万円等の収入減算要素により、217億2百万円の収入(前年同期比92億13百万円収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金につきましては、主に営業用コンピュータ等の有形固定資産の取得による支出10億10百万円、アウトソーシング用ソフトウェアに対する投資を中心とした無形資産の取得による支出37億59百万円等により、49億56百万円の支出(前年同期比17億40百万円支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金につきましては、リース負債の返済による支出23億10百万円および配当金の支払額58億35百万円等により、127億14百万円の支出(前年同期比50億53百万円支出増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月30日発表の連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年 6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	64,801	68,743
営業債権及びその他の債権	87,949	60,430
契約資産	7,387	8,167
棚卸資産	15,842	13,935
その他の金融資産	2,664	2,656
その他の流動資産	18,163	21,741
流動資産合計	196,809	175,675
非流動資産		
有形固定資産	13,056	13,247
使用権資産	20,647	19,499
のれん	2,539	2,455
無形資産	33,592	36,124
持分法で会計処理されている投資	5,801	6,456
その他の金融資産	32,548	33,601
繰延税金資産	12,341	11,865
退職給付に係る資産	2,784	2,588
その他の非流動資産	10,755	11,890
非流動資産合計	134,066	137,730
資産合計	330,876	313,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年 6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	31,979	27,790
契約負債	31,912	38,446
借入金	9,467	7,362
リース負債	8,003	7,508
その他の金融負債	2,917	5,636
未払法人所得税等	8,759	2,320
引当金	1,066	1,012
その他の流動負債	28,545	18,779
流動負債合計	122,649	108,856
非流動負債		
借入金	11,262	11,262
リース負債	13,867	13,201
その他の金融負債	308	207
退職給付に係る負債	7,380	6,872
引当金	3,713	3,721
繰延税金負債	396	354
非流動負債合計	36,929	35,618
負債合計	159,578	144,475
資本		
資本金	5,483	5,483
資本剰余金	13,972	13,391
自己株式	△5,247	△7,105
その他の資本の構成要素	3,734	4,184
利益剰余金	151,107	151,032
親会社の所有者に帰属する持分合計	169,050	166,986
非支配持分	2,247	1,944
資本合計	171,297	168,930
負債及び資本合計	330,876	313,406

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日)
売上収益	88,352	96,844
売上原価	66,715	73,056
売上総利益	21,636	23,788
販売費及び一般管理費	15,310	15,947
持分法による投資損益(△は損失)	214	780
その他の収益	67	24
その他の費用	30	77
営業利益	6,578	8,569
金融収益	600	264
金融費用	48	310
税引前四半期利益	7,129	8,523
法人所得税	2,245	2,684
四半期利益	4,883	5,838
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,892	5,827
非支配持分	△9	10
四半期利益	4,883	5,838
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	48.66	59.42
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	48.54	59.30

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日)
四半期利益	4,883	5,838
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	362	732
純損益に振り替えられることのない項目合計	362	732
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	150	△191
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	84	△102
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	235	△294
税引後その他の包括利益	597	437
四半期包括利益	5,481	6,276
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,484	6,284
非支配持分	△2	△7
四半期包括利益	5,481	6,276

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				その他の 包括利益を 通じて 測定する 金融資産の 公正価値の 純変動	新株予約権	持分法適用 会社における その他の包 括利益に対 する持分
2024年4月1日	5,483	15,004	△13,226	7,383	413	104
四半期利益						
その他の包括利益				362		84
四半期包括利益	—	—	—	362	—	84
剰余金の配当						
自己株式の取得			△0			
自己株式の処分		0	7		△8	
子会社の支配獲得に伴う変動						
その他の資本の構成要素から利益 剰余金への振替				42		
その他						
所有者との取引額合計	—	0	7	42	△8	—
2024年6月30日	5,483	15,005	△13,219	7,788	405	189

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素				非支配持分	資本合計
	在外営業 活動体の 換算差額	合計	利益剰余金	合計		
2024年4月1日	655	8,556	150,605	166,423	1,890	168,314
四半期利益			4,892	4,892	△9	4,883
その他の包括利益	144	591		591	6	597
四半期包括利益	144	591	4,892	5,484	△2	5,481
剰余金の配当			△5,530	△5,530	△148	△5,679
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分		△8		0		0
子会社の支配獲得に伴う変動					67	67
その他の資本の構成要素から利益 剰余金への振替		42	△42			—
その他			5	5		5
所有者との取引額合計	—	34	△5,568	△5,525	△81	△5,607
2024年6月30日	799	9,182	149,930	166,381	1,806	168,188

当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	新株予約権	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分
2025年4月1日	5,483	13,972	△5,247	2,199	345	209
四半期利益						
その他の包括利益				732		△102
四半期包括利益	—	—	—	732	—	△102
剰余金の配当						
自己株式の取得			△1,941			
自己株式の処分		△7	11		△4	
株式報酬取引		△53	71			
子会社の支配獲得に伴う変動						
支配継続子会社に対する持分変動		△527				
利益剰余金から資本剰余金への振替		7				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△1		
所有者との取引額合計	—	△581	△1,858	△1	△4	—
2025年6月30日	5,483	13,391	△7,105	2,930	340	106

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素				非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	合計	利益剰余金	合計		
2025年4月1日	980	3,734	151,107	169,050	2,247	171,297
四半期利益			5,827	5,827	10	5,838
その他の包括利益	△173	456		456	△18	437
四半期包括利益	△173	456	5,827	6,284	△7	6,276
剰余金の配当			△5,897	△5,897	△148	△6,045
自己株式の取得				△1,941		△1,941
自己株式の処分		△4		0		0
株式報酬取引				17		17
子会社の支配獲得に伴う変動					8	8
支配継続子会社に対する持分変動				△527	△155	△683
利益剰余金から資本剰余金への振替			△7			—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		△1	1			—
所有者との取引額合計	—	△6	△5,902	△8,348	△294	△8,643
2025年6月30日	806	4,184	151,032	166,986	1,944	168,930

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	7,129	8,523
減価償却費及び償却費	4,617	4,506
減損損失	28	20
受取利息及び受取配当金	△228	△264
支払利息	39	97
持分法による投資損益(△は益)	△214	△780
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	29,686	27,461
契約資産の増減額(△は増加)	△1,911	△786
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,948	1,907
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△10,281	△4,142
契約負債の増減額(△は減少)	7,058	6,597
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△276	△310
その他	△13,110	△12,833
小計	19,588	29,996
利息及び配当金の受取額	253	266
利息の支払額	△28	△82
法人所得税の支払額	△7,324	△8,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,488	21,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△703	△1,010
有形固定資産の売却による収入	1	3
無形資産の取得による支出	△2,047	△3,759
投資有価証券の取得による支出	△399	△226
子会社の取得による支出	△140	—
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	—	12
その他	72	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,215	△4,956

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△2,100
リース負債の返済による支出	△2,343	△2,310
自己株式の取得による支出	△0	△1,941
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△683
配当金の支払額	△5,468	△5,835
非支配持分への配当金の支払額	△148	△148
その他	299	304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,661	△12,714
現金及び現金同等物の為替変動による影響	86	△88
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,698	3,942
現金及び現金同等物の期首残高	59,263	64,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,961	68,743

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、グループの総合力を最大限に活かし、顧客企業の経営課題の認識から解決に至るまでの一貫したITソリューションサービスを提供しており、ITソリューションサービスを構成する製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社はITソリューションサービスを構成する製品・サービス別のセグメントから構成されており、「システムサービス」、「サポートサービス」、「アウトソーシング」、「ソフトウェア」及び「ハードウェア」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は、以下のとおりであります。

- ・「システムサービス」 ソフトウェアの請負開発業務、SEサービス、コンサルティング
- ・「サポートサービス」 ソフトウェア・ハードウェアの保守サービス、導入支援等
- ・「アウトソーシング」 情報システムの運用受託等
- ・「ソフトウェア」 ソフトウェアの使用許諾契約によるソフトウェアの提供
- ・「ハードウェア」 機器の売買契約等によるハードウェアの提供

(2) 報告セグメントの業績に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結
	システム サービス	サポート サービス	アウト ソーシング	ソフト ウェア	ハード ウェア	計				
売上収益	28,438	13,686	21,432	9,629	12,537	85,723	2,628	88,352	—	88,352
セグメント利益 (注)3	9,362	4,541	4,014	762	2,356	21,036	600	21,636	△15,310	6,326
持分法による投資 損益（△は損失）										214
その他の収益										67
その他の費用										30
営業利益										6,578
金融収益										600
金融費用										48
税引前四半期利益										7,129

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、回線サービス、設備工事及び教育訓練事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である調整後営業利益を使用しております。

当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結
	システム サービス	サポート サービス	アウト ソーシング	ソフト ウェア	ハード ウェア	計				
売上収益	30,087	14,242	23,169	11,593	14,966	94,058	2,786	96,844	—	96,844
セグメント利益 (注)3	10,618	4,464	4,199	1,063	2,746	23,092	695	23,788	△15,947	7,841
持分法による投資損益(△は損失)										780
その他の収益										24
その他の費用										77
営業利益										8,569
金融収益										264
金融費用										310
税引前四半期利益										8,523

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、回線サービス、設備工事及び教育訓練事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である調整後営業利益を使用しております。